

評価シート 様式

取組名	文化財・大型モニュメント等修理メンテナンス産業創出支援事業			
実施団体名	財団法人 高岡地域地場産業センター	対象地域	富山県高岡市	
(代表団体名)		推薦団体名	高岡市役所	
① 実施 状況	提案書に記載された取組内容について、当初の計画通り実施されているか		② 実施 体制	
	<input checked="" type="checkbox"/> 申請時に予定した取組を適切に実施したと判断される。 <input type="checkbox"/> 申請時に予定した取組の一部が未実施となっている。但し、予定した主要な取組は適切に実施したと判断される。 <input type="checkbox"/> 申請時に予定した取組の一部又は全部が未実施となっており、特に主要な取組が実施されていない。			平成20年度に行われた取組の実施体制について
	(備考・特記事項)			<input type="checkbox"/> 実施した取組について、当初の計画通り地域の関係者が明確な役割分担の下、各々主体的に実施されたと判断される。 <input checked="" type="checkbox"/> 実施した取組について、当初の計画通り地域の関係者が明確な役割分担の下、各々主体的に実施されたと判断されるものの、改善の余地が認められる。 <input type="checkbox"/> 実施した取組について、主体的に実施されたと判断できない。
				(備考・特記事項)
③ 効果	平成20年度に行われた取組の当初目標の達成状況について		④ 継続 展開 の見 込み	
	<input type="checkbox"/> 当初設定した目標を達成し、実施した取組が予定していた成果をあげたと認められる。 <input checked="" type="checkbox"/> 当初設定した目標の達成には至らないものの、実施した取組が予定していた成果の一部又は全部をあげたと認められる。 <input type="checkbox"/> 実施した取組が当初の目標の達成に至らず、予定していた成果をあげることができなかったと認められる。			平成20年度に行われた取組の継続展開の見込みについて
	(備考・特記事項)			<input type="checkbox"/> 実施した取組について、当初の計画通り又は発展的に継続展開が予定され、持続的・効果的に取組が進捗すると見込まれる。 <input checked="" type="checkbox"/> 実施した取組について、当初の計画とは一部異なるものの、取組方法の改善等により持続的・効果的に取組が進捗すると見込まれる。 <input type="checkbox"/> 実施した取組について、当初の計画通り持続的・効果的に取組が進捗するとは見込まれない。
				(備考・特記事項)

※①において「申請時に予定した取組とは異なる取組が行われた」場合や、③において評価シート作成時点で成果を把握できない場合など、留意事項がある場合に「備考・特記事項」欄に記載する。

評価シート 様式

取組名	文化財・大型モニュメント等修理メンテナンス産業創出支援事業		
実施団体名	財団法人 高岡地域地場産業センター	対象地域	富山県高岡市
(代表団体名)		推薦団体名	高岡市役所

⑤ 総合評価	○ 複合性、先導性・モデル性、相乗効果・波及効果に関する所見
	「金工」や「漆工」などの優れた伝統工芸技術を活かした修理・メンテナンスのビジネスモデルを立ち上げる試みであり、伝統産業技術等のストックマネジメントとして先導性・モデル性が評価できる。また、同時にフォーラム等でものづくりへの市民の関心を高め、将来の担い手を発掘する機運を醸成する等複合性も認められる。
	○ 評価
	<input type="checkbox"/> ①～④及び「複合性、先導性・モデル性、相乗効果・波及効果」の全てにおいて評価が高く、「地方の元気再生事業」の趣旨に鑑みて優れた取組であると評価できる。
	<input checked="" type="checkbox"/> 「地方の元気再生事業」の趣旨に合致した取組であると評価できる。ただし、①～④及び「複合性、先導性・モデル性、相乗効果・波及効果」のいずれかについて改善の余地が認められる。
<input type="checkbox"/> ①～④のうち1以上の項目で評価が低く、「複合性、先導性・モデル性、相乗効果・波及効果」においても特筆すべき点が認められず、「地方の元気再生事業」の趣旨に合致した取組であるとは評価できない。	
	(評価の考え方及び次年度以降に向けた所見)
	地域固有の伝統技術・文化の継承および、文化財の修理メンテナンス市場の開拓を試みている点で地域活性化に寄与する取組であると評価できる。H20年度はほぼ当初計画通りの活動ができており、実際に県内外から文化財修理の見積依頼もあり、受注が数件見込まれている。また、H20年度の活動を通じて、課題が明確化かつ細分化されてきており、H21年度は、県・市の補助を受けながら関連各産業界等の自主的活動に移行するとしていることから、地方の元気再生事業による支援を行わなくても自立的な展開が期待できるものである。